

2026年1月5日

会社名 株式会社高見沢サイバネティックス
代表者名 代表取締役社長 高見澤 和夫
(コード番号: 6424 東証スタンダード市場)

**Osaka Metro130 駅設置の「ウォークスルー型 顔認証改札機」が
2025年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞を受賞**



大阪市高速電気軌道株式会社（本社：大阪市西区、代表取締役社長：河井英明、以下「Osaka Metro」）、株式会社高見沢サイバネティックス（本社：東京都中野区、代表取締役社長：高見澤和夫、以下「高見沢サイバネティックス」）、パナソニック コネクト株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 執行役員 プレジデント・CEO：樋口泰行、以下「パナソニック コネクト」）が連携して導入し、現在 Osaka Metro130 駅で運用している「ウォークスルー型 顔認証改札機」が、2026年1月5日（月曜日）に2025年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞を受賞しました。

本改札機は、2025年の大阪・関西万博に向けたキャッシュレス・チケットレス改札の取組みの一環として、従来の改札利用時における乗車券の紛失や不正通行、車椅子利用者や手荷物がある場合の通行時の不便といった課題を解決し、より便利で快適な移動の実現を目指して開発・導入しました。Osaka Metro が 130 駅に設置し、パナソニック コネクトの世界最高水準の顔認証技術※と高見沢サイバネティックスによる近未来を意識した機能とデザインを組み合わせて開発し、従来の IC カードと同等程度の認証速度で、マスクやメガネなど通過者の様々な装いでもウォークスルーで通行することができます。

本賞では、利用者の顔の経年変化に強くマスク着用でも正確に認証できる高い精度、また同技術の普及によって次世代の鉄道業界のスタンダードになりうる将来性が大きく評価され、最優秀賞を受賞しました。

今後も3社はそれぞれのサービスやテクノロジーの強みを活かしながら、鉄道利用者の利便性向上を実現していきます。

※2022年11月6日に公開されたNIST FRTE 1:1評価結果において、Mugshot（人種・経年変化を含む正面顔データ。他人受入率10万分の1）で世界1位を獲得。更に、2024年3月26日に公開されたNIST FRTE 1:N評価結果（検索精度）において、Mugshot（経年変化を含む正面顔データ。160万登録）、Border（顔の向き変化や画質劣化を含む顔データ。160万名登録）の2つの評価カテゴリで世界1位を獲得。

■日経優秀製品・サービス賞とは

日経優秀製品・サービス賞とは、1982年に始まり今回で44回目を迎える、日本経済新聞社がその年に特に優れた新製品や新サービスを称える賞です。技術開発性や成長性、独自性、産業・社会へのインパクトなど複数の項目から総合的に評価され、外部有識者による審査を経て受賞製品・サービスが決定されます。

- ・2025年日経優秀製品・サービス賞

<https://www.nikkei.com/edit/news/special/newpro/2025/>

■各社の役割

大阪市高速電気軌道株式会社 (Osaka Metro)	全体監修・サービス提供・システム運用
株式会社高見沢サイバネティックス	顔認証改札機の製造
パナソニック コネクト株式会社	顔認証システムの構築

■大阪市高速電気軌道株式会社

<https://www.osakametro.co.jp/>

■株式会社高見沢サイバネティックス

<https://www.tacy.co.jp/>

■パナソニック コネクト株式会社

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/>

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/facial-recognition/top>

【本報道に関するお問合せ先】

株式会社高見沢サイバネティックス

・広報担当 https://www.tacy.co.jp/inquiry/agreement_ir/